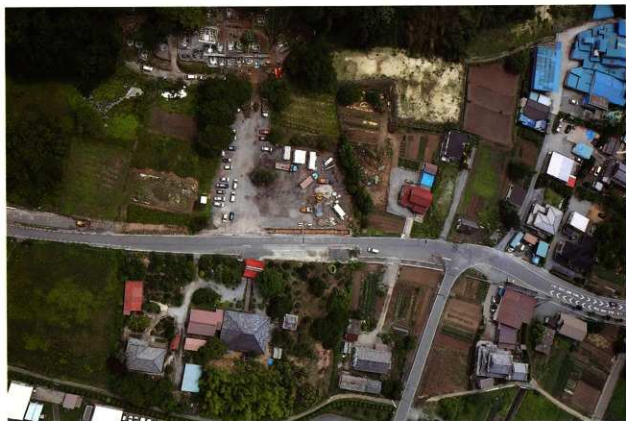


写真図版



1 調査区遠景



2 調査区遠景



1 1、2、3区全景



2 1、2、3区全景



4 2区



3 1区



5 3区



1 4、5区



2 5区



4 6区



3 6区



5 6区

図版 4



1 第1号住居跡



5 第1号住居跡遺物出土状況



2 第1号住居跡



6 第1号住居跡遺物出土状況



3 第1号住居跡遺物出土状況



7 第1号住居跡遺物出土状況



4 第1号住居跡遺物出土状況



8 第2、3号住居跡



1 第1、2、3号竪穴状遺構



5 第4号竪穴状遺構



2 第1号竪穴状遺構



6 第2号竪穴状遺構遺物出土状況



3 第2号竪穴状遺構



7 第2号竪穴状遺構遺物出土状況



4 第3号竪穴状遺構



8 第3号竪穴状遺構遺物出土状況



1 第1号土坑



5 第7号土坑



2 第2、4号土坑



6 第8、9号土坑



3 第3号土坑



7 第12号土坑



4 第5号土坑



8 第12号土坑随物出土状况



1 第15、17号土坑



5 第21号土坑



2 第16号土坑



6 第21号土坑遗物出土状况



3 第18号土坑



7 第22号土坑



4 第19号土坑



8 第22号土坑遗物出土状况



1 第23号土壙



5 第31号土壙



2 第26号土壙



6 第35号土壙、第3号ピット



3 第27号土壙



7 第36、37号土壙



4 第30、33号土壙



8 第45号土壙



1 1区 第2号ビット



5 4区 第14号ビット



2 2区 第33、34号ビット



6 4区 第16号ビット



3 3区 第1号ビット



7 4区 第19号ビット



4 4区 第13号ビット



8 4区 第20号ビット



1 4区 第28号ビット



5 4区 第51号ビット



2 4区 第6、41号ビット



6 4区 第53号ビット



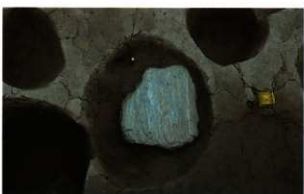
3 4区 第44号ビット



7 4区 第54号ビット



4 4区 第46号ビット



8 5区 第7号ビット



1 5区 第19号ピット



5 第1、2号溝跡



2 5区 第21号ピット、第20号土壌



6 第3号溝跡



3 6区 第5号ピット



7 第4号溝跡



4 6区 第39号ピット



8 第5号溝跡



1 グリッド (第7図1~3)



6 グリッド (第7図8)



2 グリッド (第7図4)



7 第1号住居跡 (第9図1)



3 グリッド (第7図5)



8 第1号住居跡 (第9図3)



4 グリッド (第7図6)



9 第1号住居跡 (第9図4)



5 グリッド (第7図7)



10 第1号住居跡 (第9図6)



1 第1号住居跡(第9图8)



5 第1号住居跡(第9图12)



2 第1号住居跡(第9图9)



6 第1号住居跡(第9图13)



3 第1号住居跡(第9图10)



7 第1号住居跡(第9图14)



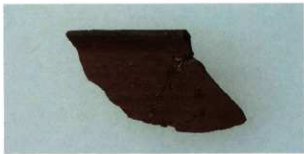
4 第1号住居跡(第9图11)



8 第1号住居跡(第9图15)



1 第2号住居跡(第11图1)



6 第3号住居跡(第12图2)



2 第2号住居跡(第11图2)



7 第3号住居跡(第12图3)



3 第2号住居跡(第11图3)



8 第3号住居跡(第12图5)



4 第2号住居跡(第11图4)



9 第3号住居跡(第12图6)



5 第3号住居跡(第12图1)



10 第4号住居跡(第13图1)



1 第3号土壙 (第15図11)



2 第3号土壙 (第15図12)



3 第3号土壙 (第15図13)



4 第3号土壙 (第15図14)



5 第5号土壙 (第15図4)



6 第5号土壙 (第15図5)



7 第5号土壙 (第15図9)



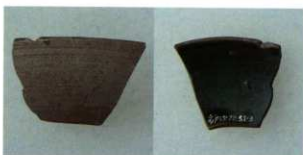
8 第5号土壙 (第15図10)



9 第12号土壙 (第15図3)



1 第1号豎穴状遺構 (第16图1)



6 第3号豎穴状遺構 (第20图1)



2 第2号豎穴状遺構 (第18图2)



7 第3号豎穴状遺構 (第20图2)



3 第2号豎穴状遺構 (第18图3)



8 第3号豎穴状遺構 (第20图3)



4 第2号豎穴状遺構 (第18图4)



9 第4号豎穴状遺構 (第22图1)



5 第2号豎穴状遺構 (第18图7)



10 第4号豎穴状遺構 (第22图2)



1 第9号土壙(第25图2)



2 第19号土壙(第27图1)



3 第23号土壙(第27图2)



4 第30号土壙(第29图1)



5 第31号土壙(第29图2)



6 第31号土壙(第29图3)



7 第45号土壙(第30图3)



8 第45号土壙(第30图5)



9 第45号土壙(第30图左:7、右:8)



10 第45号土壙(第30图9)



1 第21号土壤(第28图6)



6 第21号土壤(第28图11)



2 第21号土壤(第28图7)



7 第21号土壤(第28图12)



3 第21号土壤(第28图8)



8 第22号土壤(第28图13)



4 第21号土壤(第28图9)



9 第22号土壤(第28图14)



5 第21号土壤(第28图10)



10 第22号土壤(第28图15)



1 第22号土壤(第28图16)



6 第21号土壤(第28图2)



2 第22号土壤(第28图17)



7 第21号土壤(第28图3)



3 第22号土壤(第28图18)



8 第21号土壤(第28图4)



4 第22号土壤(第28图19)



5 第22号土壤(第28图1)



9 第21号土壤(第28图5)



1 2区 第36号ピット(第31図1)



6 4区 第49号ピット(第31図6)



2 4区 第3号ピット(第31図2)



7 4区 第18号ピット(第31図7)



3 2区 第30号ピット(第31図3)



8 2区 第16号ピット(第31図8)



4 4区 第16号ピット(第31図4)



9 6区 第5号ピット(第31図10)



5 2区 第15号ピット(第31図5)

報告書抄録

ふりがな	ばんどいせき							
書名	番戸遺跡							
副書名	地方特定道路（改築）整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第387集							
編著者名	大屋道則							
編集機関	財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2012（平成24）年1月25日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	道路番号					
ばんどいせき 番戸遺跡 (第1次)	埼玉県秩父郡長湊 町大字岩田 あだほんど 字番戸809-1番地	11363	46-091	36°07'47"	139°07'40"	20100330 ～ 20100523	381	道路改築
ばんどいせき 番戸遺跡 (第2次)	埼玉県秩父郡長湊 町大字岩田 あだほんど 字番戸809-1番地	11363	46-091	36°07'47"	139°07'40"	20100524 ～ 20100630	376	道路改築
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	包含層	縄文時代	包含層	縄文土器 石器		平安時代の土壌より墨書のある須恵器が検出された。		
番戸遺跡	集落	古墳時代	住居跡 1軒	土師器 須恵器		中・近世のビットから、青銅製の錘が検出された。		
	集落	平安時代	住居跡 3軒	土師器 須恵器		中・近世の竪穴状遺構から、火縄銃の玉が検出された。		
	集落	中・近世	竪穴状遺構 4基	陶磁器		地域には、道光寺が火災によって焼失し移転したという伝承があったが、移転前の施設に関連すると思われる、根石を持った柱穴と、移転後の時期に相当する、竪穴状遺構が検出された。		
	集落	奈良・平安時代	土壌 3基	陶磁器		焼失前の旧道光寺の区画を表すと考えられる溝を検出した。		
	集落	中・近世	土壌 42基	陶磁器				
	寺院跡	中・近世	ビット 293基	陶磁器				
寺院跡	中・近世	溝 7条						
要約								
<p>番戸遺跡は荒川が北流から東流に変わる流向の変換点よりやや下流側の、右岸河岸段丘上に位置する。縄文時代については、中期加曾利EⅢ式、後期加曾利B式などの土器片や同時期と考えられる石器が僅かに出土したが、遺構は検出できなかった。古墳時代については、住居跡が1軒検出された。当該期の集落は、より荒川に近い調査区よりも北側に展開していると考えられる。平安時代の遺構は、竪穴住居跡が3軒、土壌が3基検出された。竪穴住居跡からの出土遺物は少なかったが、土壌からの出土遺物の中には、墨書土器が見られた。当該地域は岩田の牧に比定する説もあることから、同時代の遺物が検出されたことの意義は大きい。中近世については、16世紀代の日常雑器の破片が一括投棄された土壌が検出されており、当該地域が藤田氏の支配にかかる時期の遺物である。火災にあって移転したと伝承されている道光寺については、調査区西端で検出された溝と、3区4区境界の溝が、その区画に該当すると考えられる。火災前と考えられる18世紀以前の土壌やビットが4区から集中的に検出されており、現在の道光寺から見て道路の反対側である南側に旧道光寺があったことは間違いなさであろう。また、18世紀半ばに立て直された道光寺の時期に該当する遺構としては、2区から3区にかけて検出された竪穴状遺構4基があげられる。この中の1基からは火縄銃の玉も検出されている。</p>								

財団法人埼玉埋蔵文化財調査事業団報告書 第387集

番戸遺跡

地方特定道路（改築）整備工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

平成24年1月20日 印刷

平成24年1月25日 発行

発行／財団法人 埼玉埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1
電話 0493(39)3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／巧和工芸印刷株式会社